

「環境白書」の刊行にあたって

現代の暮らしや産業は、豊かな自然や環境の中で営まれており、今を生きる私たち自身によって、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築していくことが何より重要です。

近年、本県の環境は概ね良好に推移していますが、地球温暖化対策や廃棄物の適正処理、野生鳥獣の保護・管理など一層の取組が求められる課題も多くあり、こうした環境を巡る情勢の変化に的確に対応するためには、本県の地域特性や産業特性を活かしながら、地域の実情に応じた環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことが必要であると考えます。

このため、本年3月に策定した「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」や、第3次「山口県環境基本計画」等に基づき、再生可能エネルギーの導入促進や地球温暖化対策の推進、循環型社会の形成、さまざまな生物との共生、次代を担う環境・エネルギー産業の育成・集積などに重点をおいて施策を展開しているところです。

私は、直面する課題にしっかりと向き合い、県民の皆様が「山口県に生まれてよかった」と思っただけけるよう、健全で恵み豊かな環境の保全と創造を目指して、積極果敢に取り組んでまいります。

この白書は、山口県環境基本条例に基づく年次報告であり、本県の環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめています。

本書を通じて、県民の皆様の環境に関する理解が深まるとともに、ふるさとの自然環境を次代に引き継いでいくための一助となりますよう願っております。

平成27年（2015年）10月



山口県知事 村岡 嗣 政